車中泊用　純正ファンコントローラ【エアトル】

取付・取扱説明書

取説コード	AIR001
商品名	車中泊用　純正ファンコントローラ 【エアトル】
バージョン	Ver1.0

エアトル　操作方法ガイド動画
https://youtu.be/QCrWJk7kLr8

1. 内容物の確認



コントローラ
1 個



メインハーネス
1 セット



電源ハーネス
1 セット



スイッチモジュール
1 セット



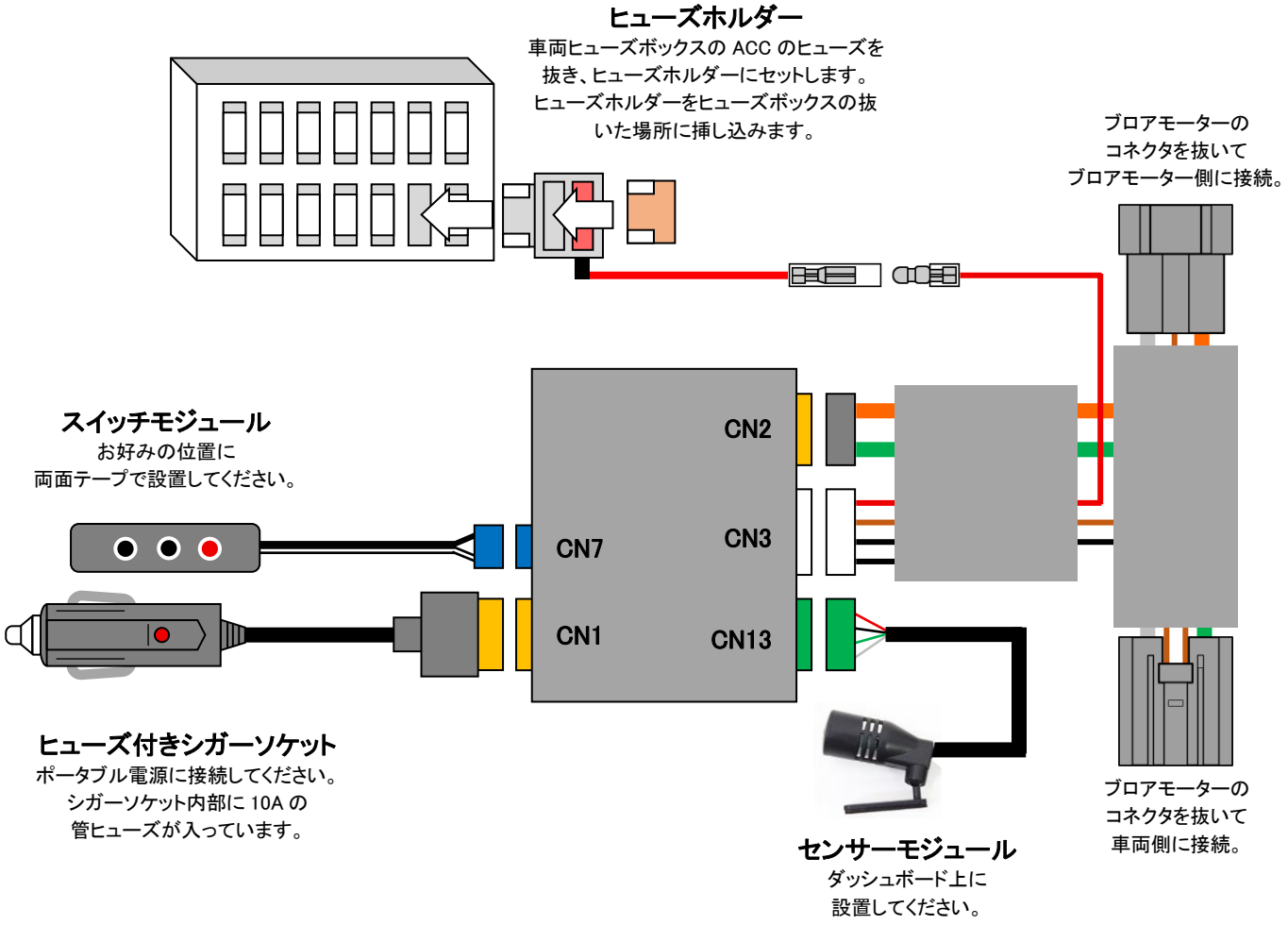
センサーモジュール
1 セット



ヒューズホルダー
1 セット

2. 取付方法

基本結線図



> **注意** ヒューズボックスが助手席側に無く、赤線が短くて届かない場合、延長して接続してください。

DIP スイッチの説明

コントローラ側面の DIP スイッチで設定の変更が可能です。設定を変更する場合、ポータブル電源を OFF にしていただくか、電源ハーネスを抜いて行ってください。



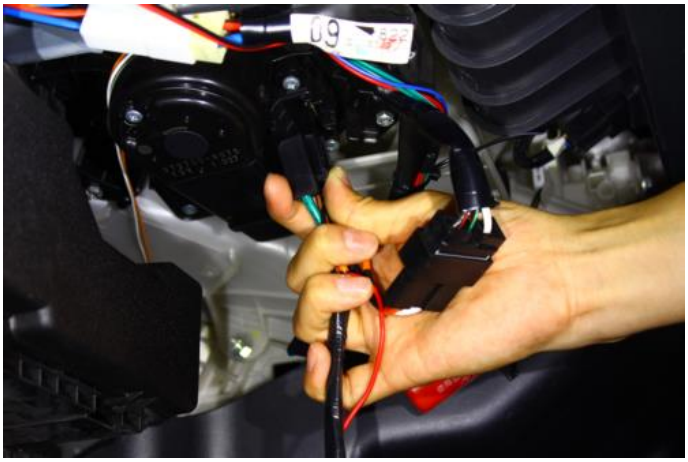
DIP スイッチ	設定項目	ON	OFF（初期設定）
1	カビ防止モード	有効	無効
2	未使用		
3	未使用		
4	コントローラの設置向き	底面が下	底面が上

ブロアファンへの接続

助手席足元にあるブロアファンのコネクタを抜き、メインハーネスのコネクタを間に接続します。



①ブロアファンからコネクタを抜きます



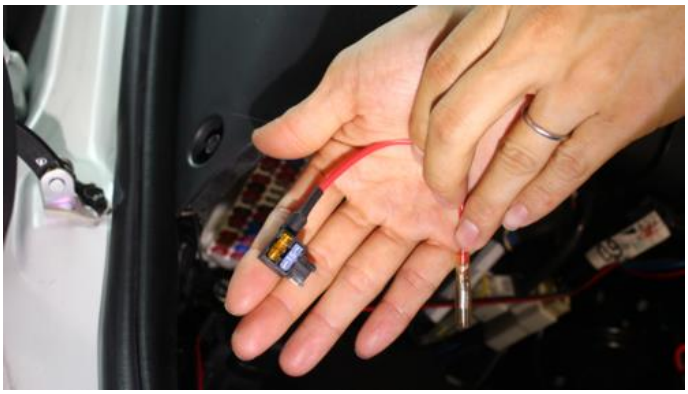
②抜いたコネクタにメインハーネスのコネクタを接続し、ブロアファンにも反対側のコネクタを接続します。

ヒューズホルダーの接続

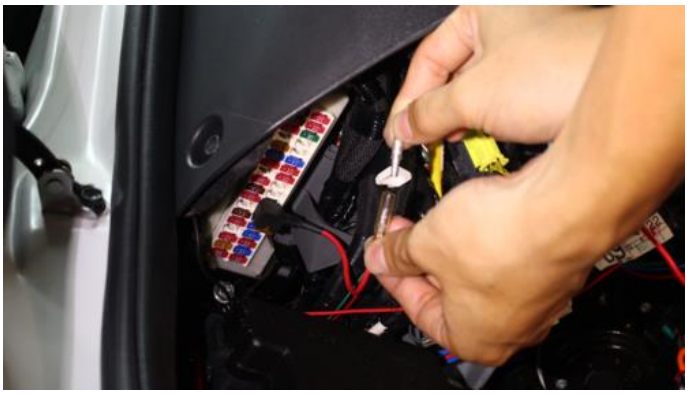
助手席足元にあるヒューズボックスから ACC のヒューズを抜き、ヒューズホルダーにセットします。セットしたヒューズホルダーをヒューズボックスの抜いた場所に挿し込みます。



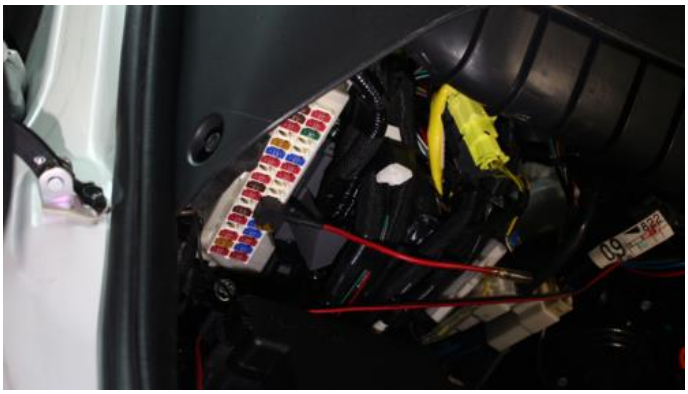
①ACC のヒューズを抜きます



②抜いたヒューズをヒューズホルダーにセットします。



③ギボシをメインハーネスの赤線に接続します。



④接続した状態です。

センサーモジュールの設置



センサーモジュールは、両面テープで直射日光の当たらない所に設置します。

スイッチモジュールの設置



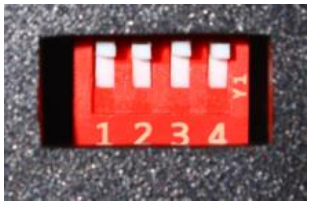
スイッチモジュールは、お好みの位置に設置してください。車中泊の時のみ使用される場合は、グローブボックスの中等に入れておいても構いません。

コントローラの設置



コントローラは、両面テープ等を使用して、助手席足元付近に設置します。
コントローラを取り付ける向きによって DIP スイッチ 4 を切り替えてください。

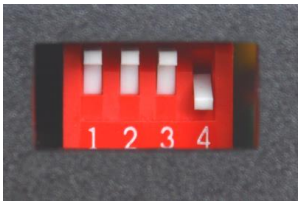
DIP スイッチ 4 OFF





底面が上

DIP スイッチ 4 ON





底面が下

電源ハーネスの接続

助手席足元にあるヒューズボックスから ACC のヒューズを抜き、ヒューズホルダーにセットします。セットしたヒューズホルダーをヒューズボックスの抜いた場所に挿し込みます。



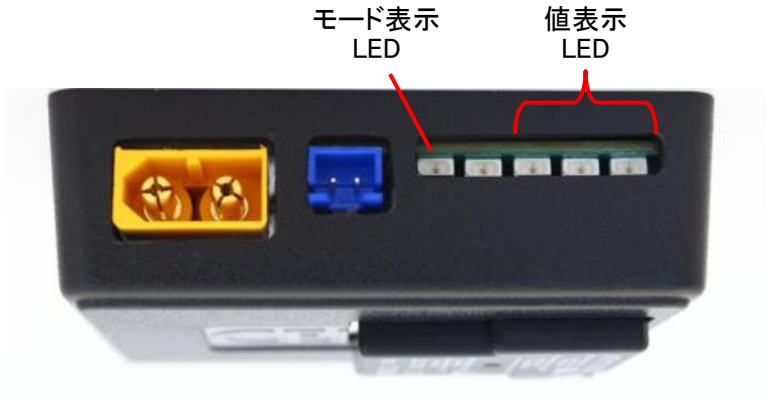


3. ボタンとモードの説明

スイッチモジュール



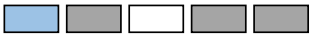
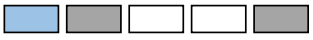
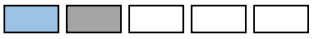
コントローラ



モード	モード表示 LED カラー	値表示 LED カラー	説明
全自動モード	青	白	車内温度と湿度によって、自動的に回転数が変わるモードです。値表示は、ファンの回転数が表示されます。
固定動作モード	黄	黄	設定した風量で動作し続けるモードです。 値表示は、ファンの回転数が表示されます。
OFF モード	赤	ー	動作しないモードです。
脱臭モード	終了後移行先 モードのカラー （青、黄、赤）	紫	脱臭するために、設定時間、ファンが強で動作します。値表示は、残り時間が表示されます。
カビ防止モード	終了後移行先 モードのカラー （青、黄、赤）	緑	カビを防止するために、エンジンを停止してから一定時間後にファンが動作します。 値表示は、残り時間が表示されます。

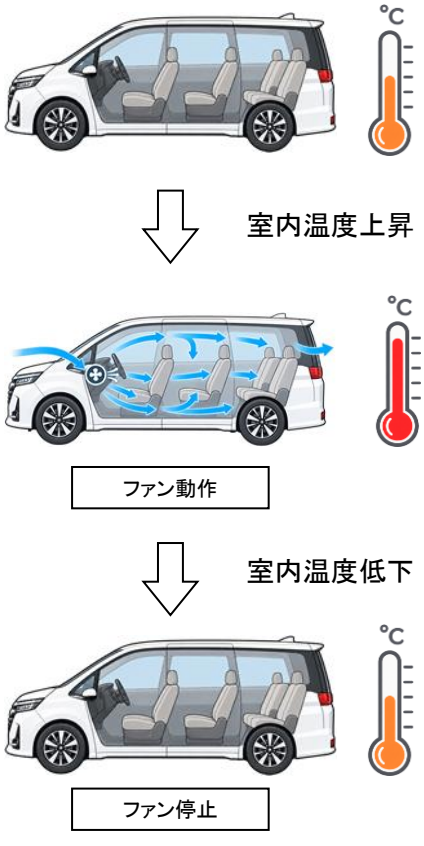
全自動モード

車内温度と湿度によって、自動的に回転数が変わるモードです。
モード変更ボタンを押すと、固定回転モードに切り替わります。
値変更ボタンを押すと、感度の変更が可能です。
脱臭ボタンを押すと、脱臭モードに切り替わります。

状態	LED	説明
動作中		待機中
		弱動作中
		中動作中
		強動作中
移行直後と値変更ボタン押下時（閾値設定中）		感度　弱設定 （かなり暑くなったり、湿度が高くなると動作します。）
		感度　中設定
		感度　強設定 （少しでも暑くなったり、湿度が高くなると動作します。）

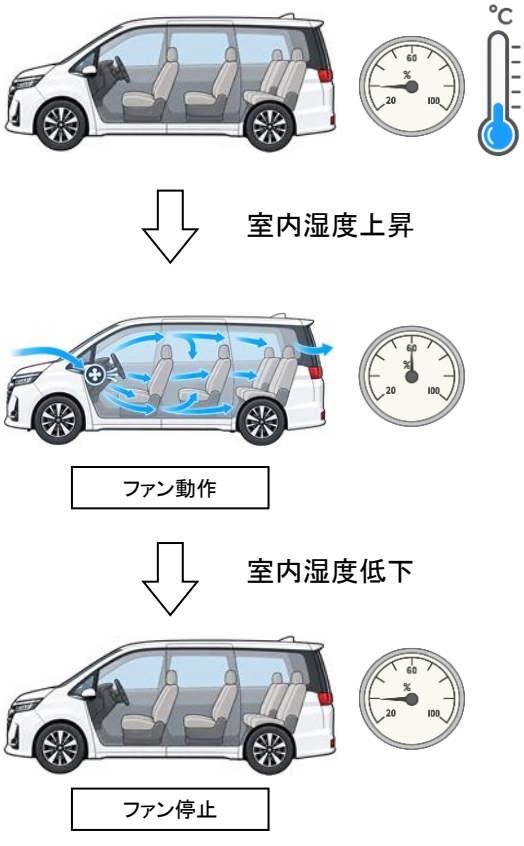
暑い時の動作

車内の温度が上がると、自動的にファンが動作します。気温が下がってくると、自動的にファンが停止します。



車中泊の時の動作

気温が低い状態で、車内の湿度が上がると、結露を防止するために自動的にファンが動作します。湿度が下がってくると、自動的にファンが停止します。



固定動作モード

設定した風量で動作し続けるモードです。
モード変更ボタンを押すと、OFF モードに切り替わります。
値変更ボタンを押すと、回転数の変更が可能です。
脱臭ボタンを押すと、脱臭モードに切り替わります。

状態	LED	説明
動作中		弱動作中
		中動作中
		強動作中

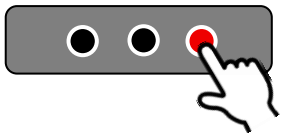
OFF モード

製品が動作しないモードです。
モード変更ボタンを押すと、全自動モードに切り替わります。
値変更ボタンを押しても、何も変わりません。
脱臭ボタンを押すと、脱臭モードに切り替わります。

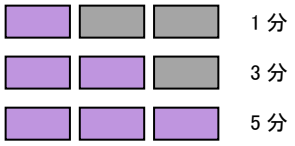
状態	LED	説明
機能 OFF		動作停止中

脱臭モード

エンジン停止後に車内の脱臭を行いたい場合に使用するモードです。設定時間、ファンが強で動作します。
モード変更ボタンを押すと、脱臭モードが終了し、脱臭モードに移行する前のモードに切り替わります。
値変更ボタンを押しても、何も変わりません。
脱臭ボタンを押すと、脱臭モードの動作時間が切り替わります。



脱臭ボタン押下



押す度に動作時間が
切り替わります。



ファン強動作

動作時間経過後



前回のモードに移行

脱臭モード 終了後移行先	LED	説明
全自動モード		残り時間 5～3 分
		残り時間 3～1 分
		残り時間 1～0 分
固定動作モード		残り時間 5～3 分
		残り時間 3～1 分
		残り時間 1～0 分
OFF モード		残り時間 5～3 分
		残り時間 3～1 分
		残り時間 1～0 分

時間が経過すると右の LED から順に暗くなります。

カビ防止モード

カビ防止モードを ON にする場合、コントローラの側面にある DIP スイッチ 1 を ON にしてください。
カビ防止モードを OFF にする場合、コントローラの側面にある DIP スイッチ 1 を OFF にしてください。
クーラーを使用する夏季のみ ON にされることをお勧めします。



カビ防止モード ON



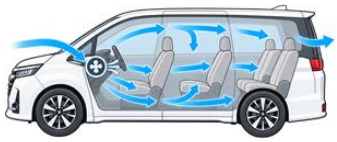
カビ防止モード OFF

クーラー使用後、すぐにエンジンを停止するとエバポレーターが結露してカビが発生します。カビの発生を抑えるために、エンジンを停止してから 10 分後にファンが動作し、エバポレーターや通気口を乾燥させます。
モード変更ボタンを押すと、カビ防止モードが終了し、カビ防止モードに移行する前のモードに切り替わります。
値変更ボタンを押しても、何も変わりません。
脱臭ボタンを押すと、脱臭モードに切り替わります。



エンジン停止

10 分後



ファン中動作

動作時間経過後



ファン停止

エンジン始動時間とファン動作時間の関係

エンジン始動時間	動作時間
5 分以下	0 分（動作しない）
5～16 分	2 分
16～27 分	4 分
27～38 分	6 分
38～49 分	8 分
49 分以上	10 分

カビ防止モード 終了後移行先	LED	説明
全自動モード		残り時間 10～6 分
		残り時間 6～3 分
		残り時間 3～0 分
固定動作モード		残り時間 10～6 分
		残り時間 6～3 分
		残り時間 3～0 分
OFF モード		残り時間 10～6 分
		残り時間 6～3 分
		残り時間 3～0 分

時間が経過すると右の LED から順に暗くなります。

4. トラブルシューティング

製品が正常に動作しない場合、下の症状に従ってご確認ください。

症状	原因・備考
シガーソケットの赤 LED が点灯しない。	シガーソケットがしっかり刺さっていない可能性や、シガーソケット内部のヒューズが飛んでいる、ポータブル電源が ON になっていない可能性があります。
コントローラの LED が点灯しない。 （全く動作しない）	電源ハーネスがコントローラに接続されていることをご確認ください。 接続されている場合、ヒューズホルダーが ACC ではなく、常時電源のヒューズ部に刺さっている可能性があります。
エンジンを始動してもファンが回り続けている。	ヒューズホルダーがしっかり接続されていることをご確認ください。
スイッチが効かない。	スイッチモジュールがコントローラにしっかり接続されていることをご確認ください。
全自動モードで、車内温度が 30℃以上になってもファンが動作しない。	センサーモジュールがコントローラにしっかり接続されていることをご確認ください。